

## [004] 九州大学極低温実験室だより表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/11019>

---

出版情報：九州大学極低温実験室だより．4，2003-06．九州大学理学部極低温実験室  
バージョン：  
権利関係：

九州大学の箱崎地区、六本松地区は元岡地区に移転することが決定しています。一度に全体が移るのではなく平成17年度後期の工学部物質科学、機械航空部門群から始まり、その次年度他の工学部門群、システム情報系それから理学系、農学系という順番のようです。ホームページによれば移転開始から終了まで約10年と記載されています。ほとんどの液体ヘリウム・液体窒素ユーザーが移転時・移転後の寒剤供給は大丈夫だろうかと不安を感じていると思われます。もし、外部からの購入となれば極低温からの購入価格の3倍以上になると思われ、研究予算を大きく圧迫し研究を停滞させる可能性も考えられます。

私自身工学部内での移転関連の会議に出席し工学部先行移転時の高圧ガスや液体窒素の供給について話し合ってきました。しかし極低温実験室が理学部附属施設ということになっているため実務経験が豊富な極低温関係者の方が上述した会議には出席しておらず、工学部移転時の寒剤施設の設置から保安管理、寒剤供給、運営に至るまでなかなか具体的な案を作成することができません。

移転時・移転後の寒剤供給を考えたとき、また他の主要大学の寒剤供給体制と比較したとき、極低温施設が理学部附属施設から全学的な研究教育支援施設に移行するのが本来の姿だろうと多くの方が感じていると思います。この問題は住民運動同様に利用者側からもっと大きな声を上げ、全学的に安定した寒剤供給体制を築いて行く必要があるのではないかと強く感じています。

T. K

## 九州大学極低温実験室だより 第4号

2003年6月発行

発行者 九州大学理学部極低温実験室  
発行責任者 網代芳民  
編集責任者 矢山英樹  
〒812-8581 福岡市東区箱崎6丁目10番1号  
TEL (092) 642-2701  
FAX (092) 642-2553

印刷所 (株)サガプリンティング  
〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田909番  
TEL (0952) 34-5100  
FAX (0952) 34-5200